

平成22年3月期(第8期) 決算説明会

平成22年5月20日
株式会社ジーダット



平成22年3月期のポイント

**前年同期比:売上高 Δ 27%、営業利益減 Δ 291M \yen
経常利益 Δ 77%、当期利益 Δ 58%**

固定費圧縮 (Δ 13%) により、経常利益率4%

助成金受託により研究開発投資はほぼ前年度同額

新製品開発はほぼ計画通り

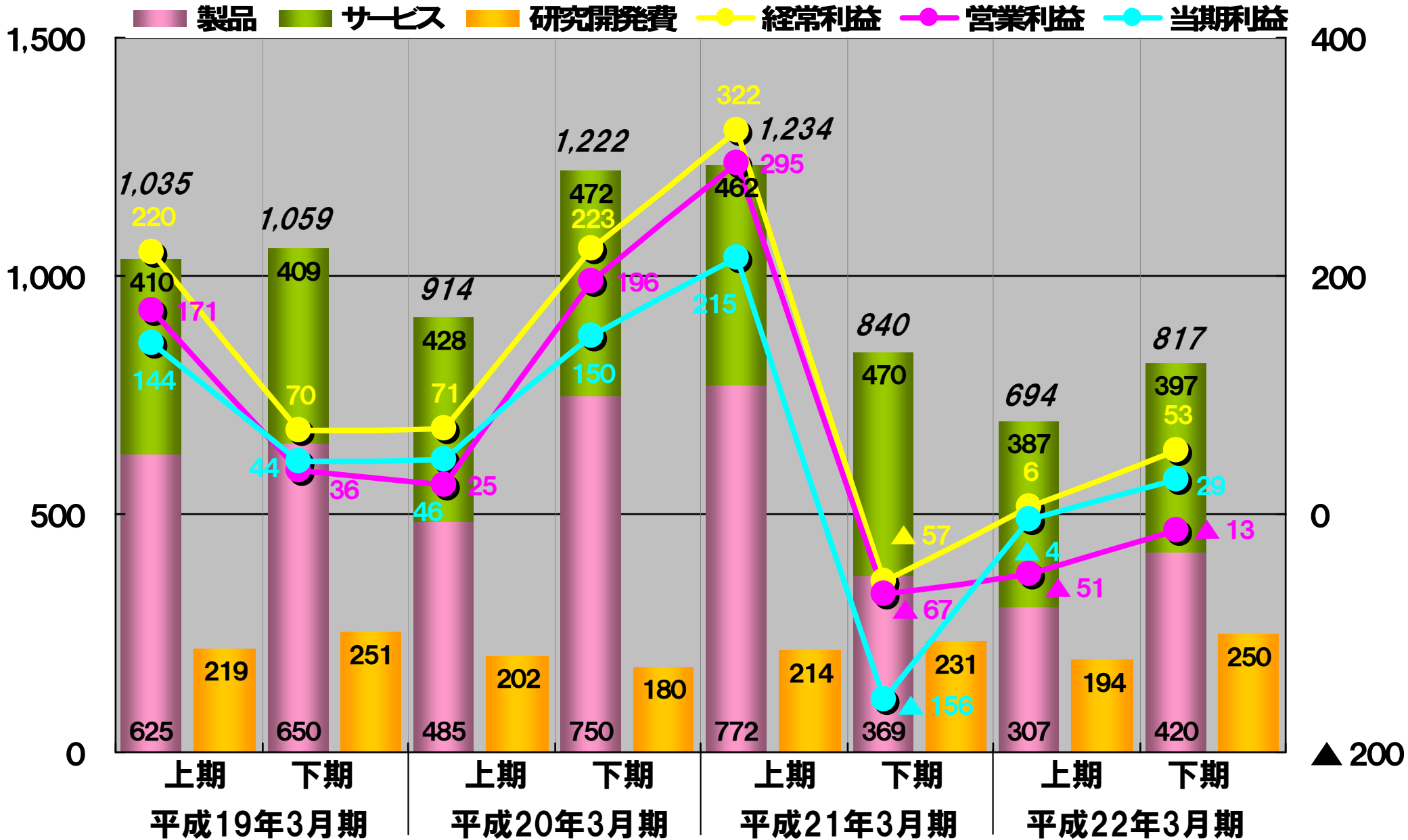
平成22年3月期業績概要(連結)

(単位：百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期 計画		平成22年3月期		
	実績	売上高比	期初	売上高比	実績	売上高比	対前年 同期比
売上高	2,074	100.0%	1,630	100.0%	1,512	100.0%	△27.1%
売上総利益	1,474	71.1%	1,119	68.7%	1,025	67.8%	△30.5%
販売費及び 一般管理費	1,247	60.1%	1,117	68.5%	1,089	72.1%	△12.6%
営業利益	227	11.0%	2	0.1%	△64	△4.3%	-
経常利益	264	12.8%	85	5.2%	60	4.0%	△77.1%
当期純利益	58	2.8%	50	3.1%	24	1.6%	△57.8%

半期毎売上高・利益の推移

(単位：百万円)



- 上期は設備投資全般の抑制、下期は生産設備投資はやや上向くも、設計設備投資は依然低迷
→ 製品売上減
- 設計技術者の減員(主に半導体市場)
→ サービス売上減
- 設計外注費の大幅抑制→設計サービス会社の設備投資抑制、技術者の減員(主に半導体市場)
→ 製品・サービス売上減
- 事業売却・縮小(主にFPD市場)
→ 製品・サービス売上減

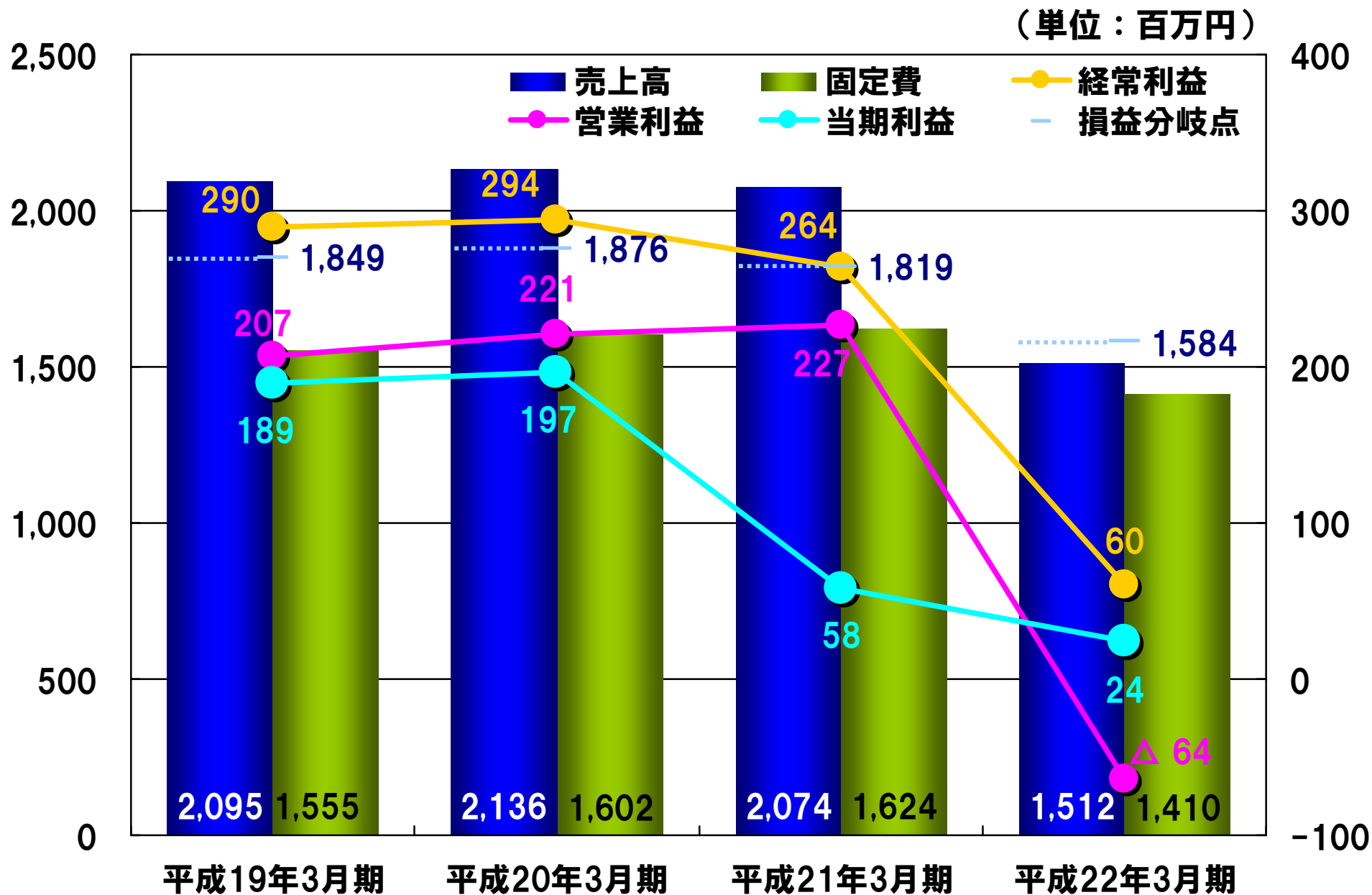
◎一過性ではない構造的問題が含まれている。

EDA売上額	2007	2009	対比
W/W	5,769M\$	4,748M\$	△18%
日本	1,176M\$	969M\$	△18%
Synopsys	1,212M\$	1,360M\$	+12%
Cadence	1,615M\$	852M\$	△47%
Mentor	880M\$	803M\$	△9%
JEDAT	2,136M¥	1,512M¥	△29%

(出典:EDA Consortium、各社Annual Report)

- 大手EDA各社は複数年の包括契約が殆どのため
落込みが小さかった。
- 市場の回復は緩やかで、競争は激化する。

売上・利益の推移

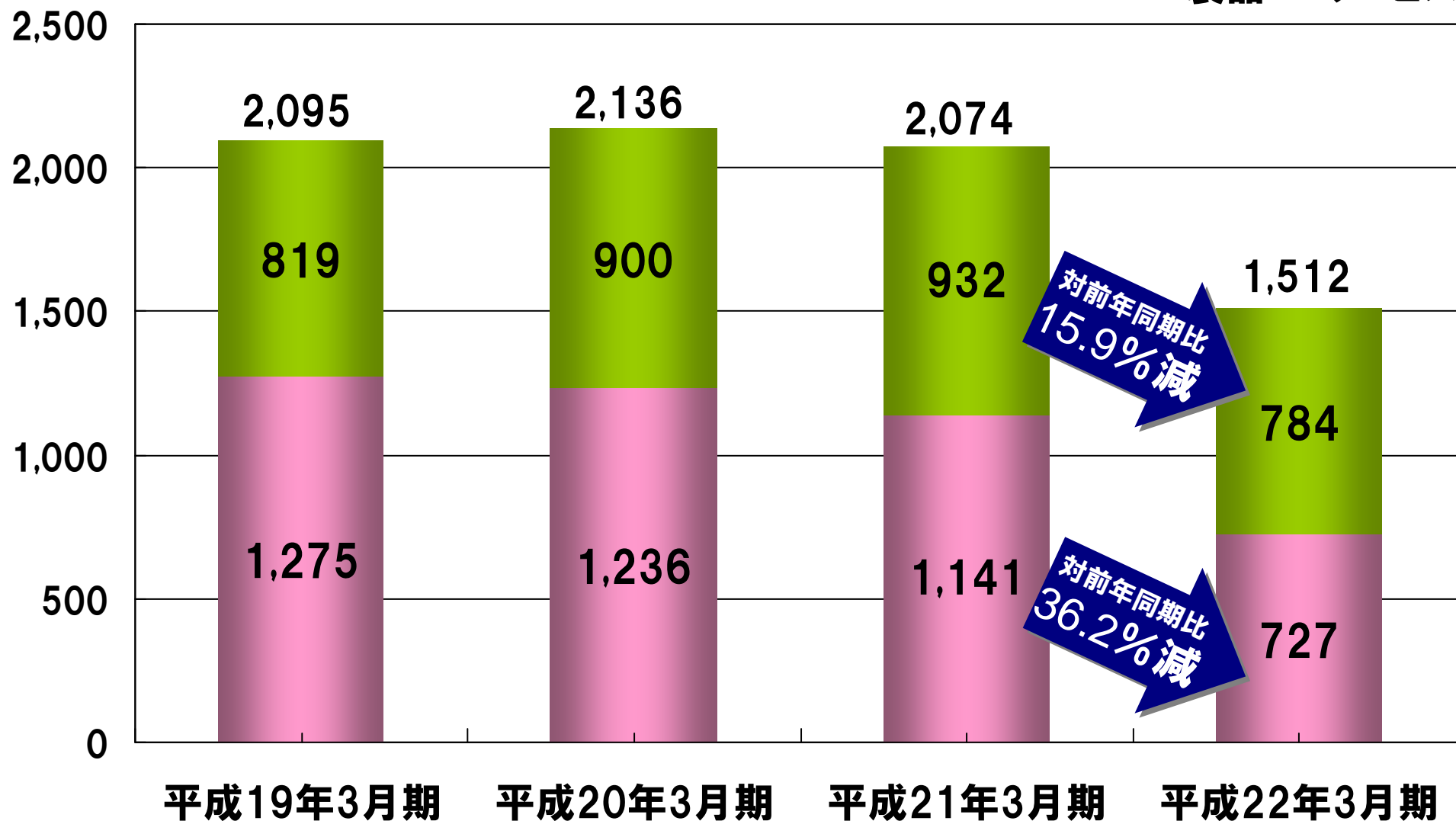


事業別売上高の推移

【製品／サービス】

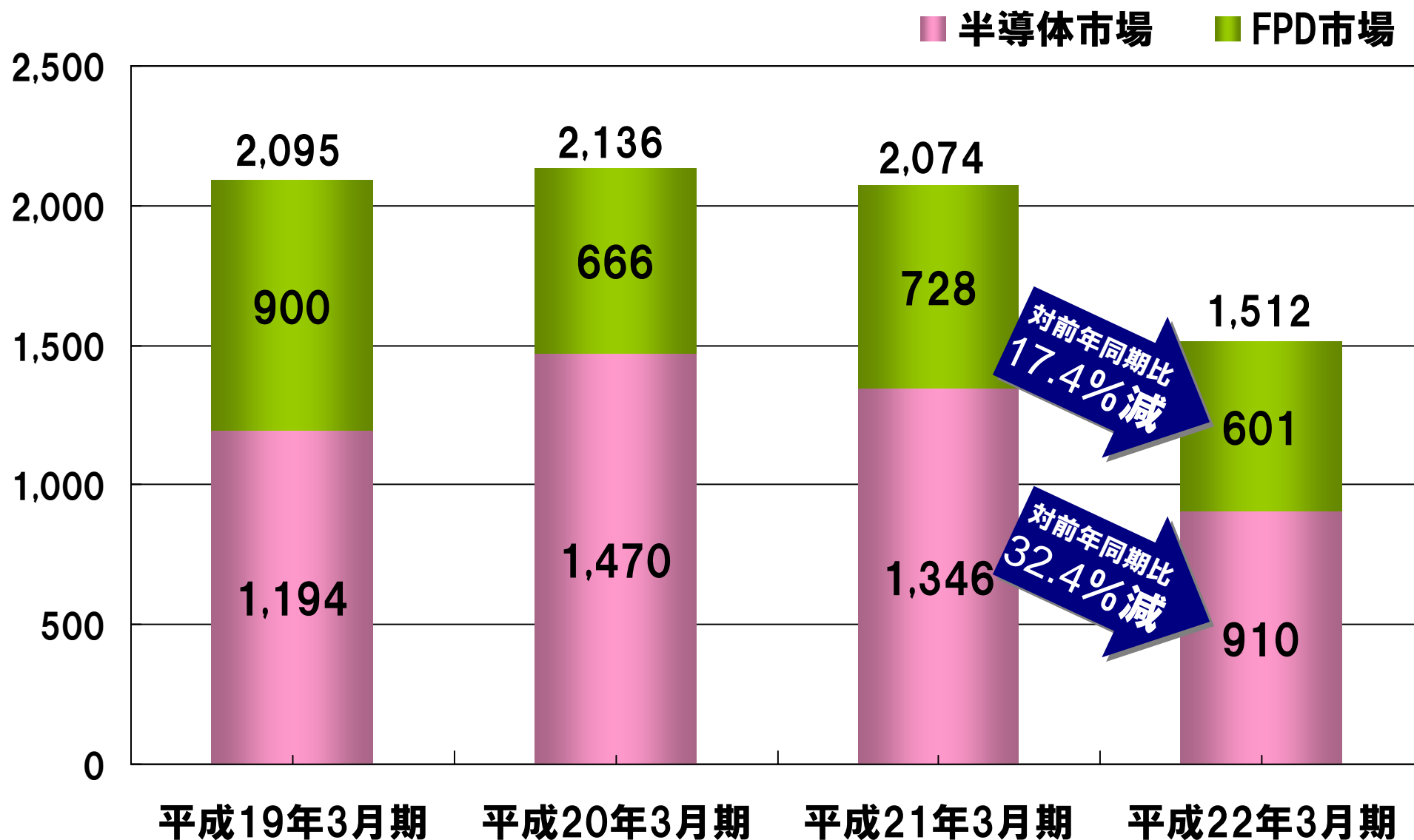
(単位：百万円)

■ 製品 ■ サービス



【半導体市場／FPD市場】

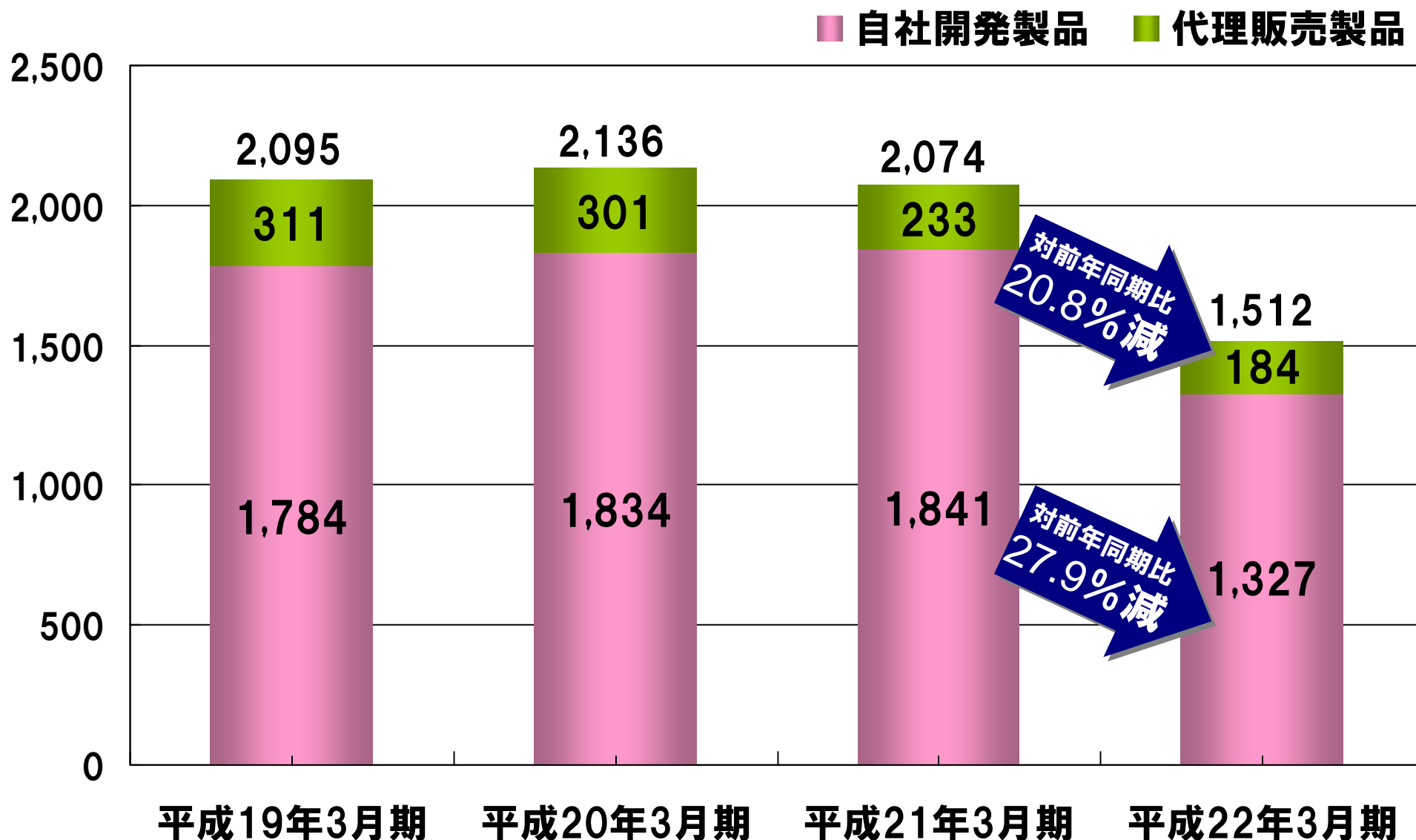
(単位：百万円)



製品区分別売上高の推移

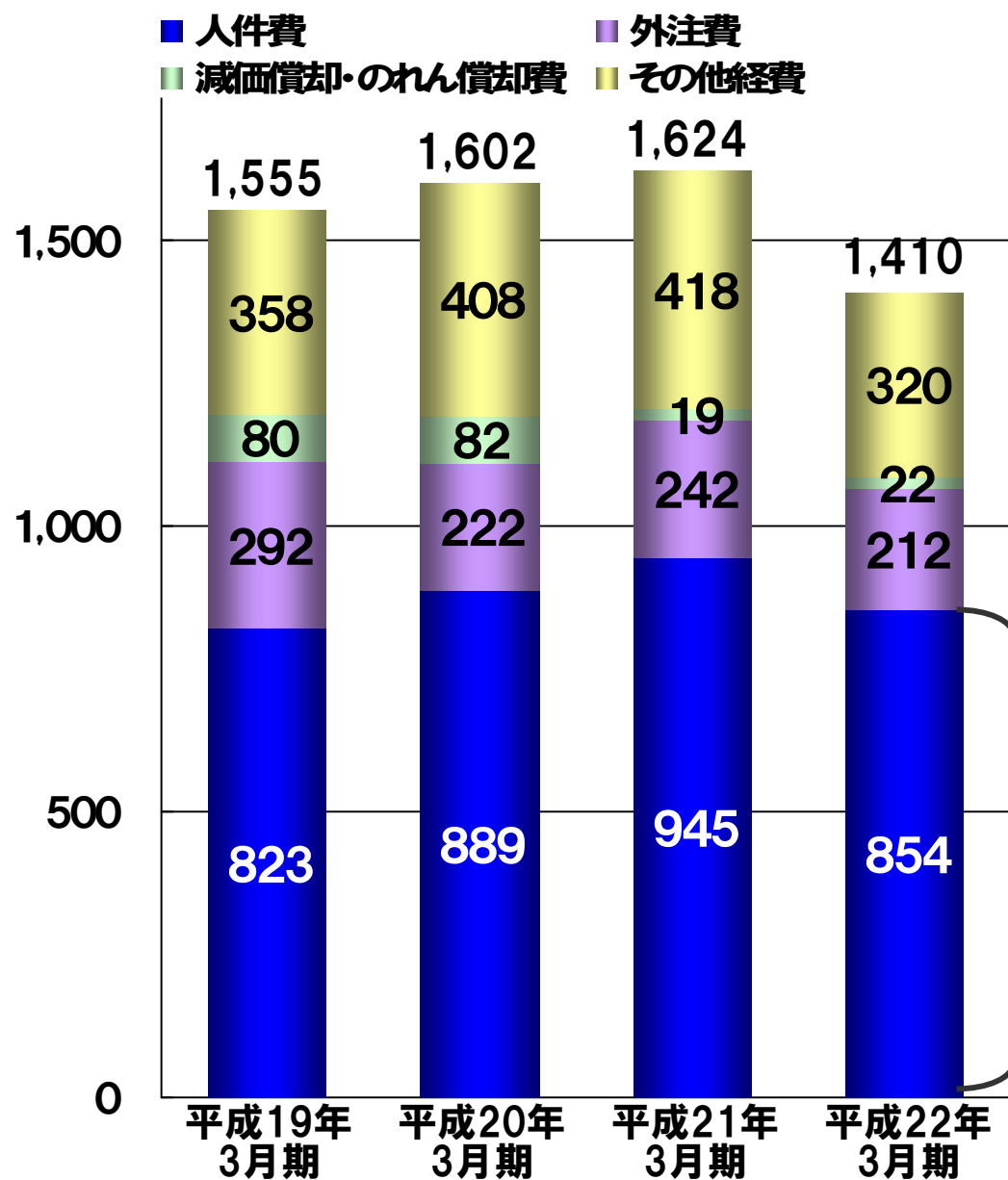
【自社開発製品／代理販売製品】

(単位：百万円)



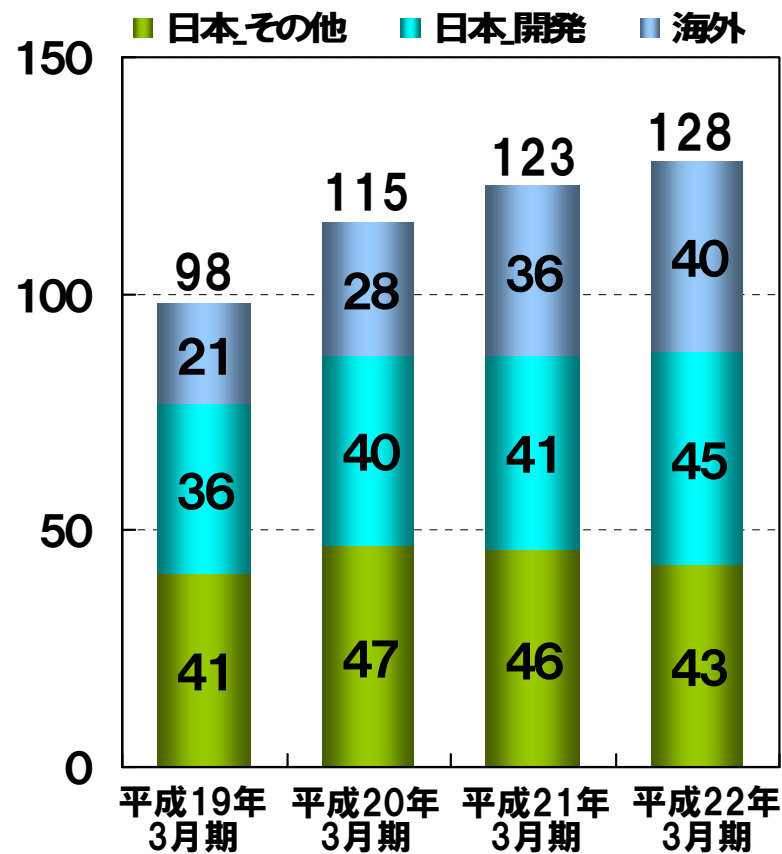
固定費内訳

(単位:百万円)

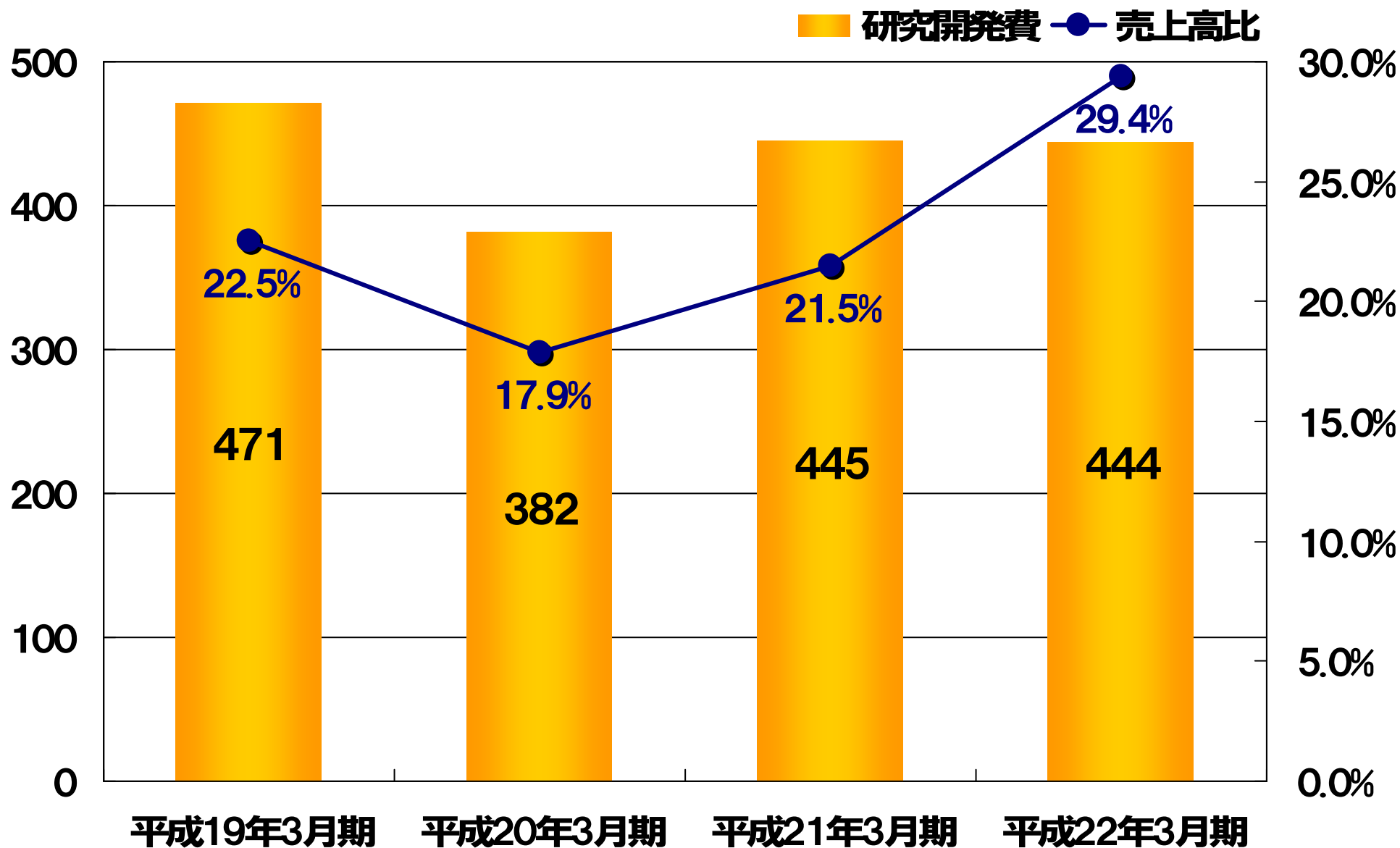


【期末社員数】

(単位:人)



(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成21年 3月期末	平成22年 3月期末	差異		平成21年 3月期末	平成22年 3月期末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	1,474	2,070	596	I 流動負債	379	248	△130
1 現金及び預金	1,070	1,681	610	1 買掛金	63	48	△14
2 受取手形及び売掛金	298	291	△6	2 未払法人税等	28	6	△22
3 たな卸資産	13	7	△5	3 賞与引当金	80	55	△24
4 繰延税金資産	39	33	△6	4 その他	206	138	△68
5 その他	51	55	4	負債合計	379	248	△130
II 固定資産	1,352	613	△739	(純資産の部)			
1 有形固定資産	21	35	14	I 株主資本	2,449	2,435	△13
2 無形固定資産	40	30	△9	1 資本金	760	760	-
3 投資その他の資産合計	1,291	547	△744	2 資本剰余金	890	890	-
長期貸付金	3	1	△2	3 利益剰余金	831	818	△13
繰延税金資産	207	196	△11	4 自己株式	△32	△32	-
長期預金	1,000	300	△700	II 評価・換算差額等	△1	△1	0
その他	80	49	△30	その他有価証券評価差額金	-	-	-
				為替換算調整勘定	△1	△1	0
				純資産合計	2,447	2,434	△12
資産合計	2,826	2,683	△143	負債純資産合計	2,826	2,683	△143

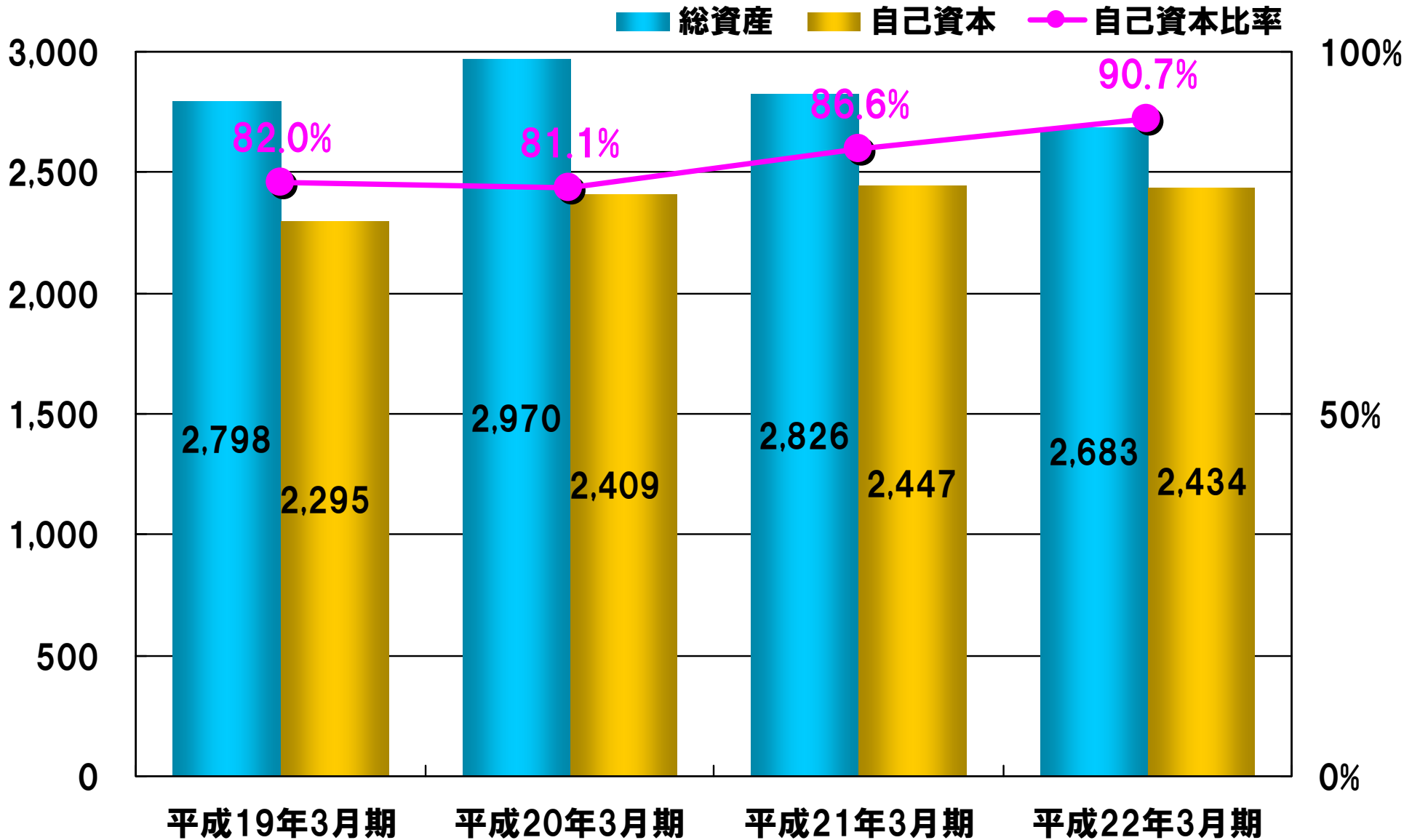
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	平成21年 3月期末	平成22年 3月期末	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	138	△41	△180
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△373	△10	363
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△38	△38	-
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0	5
V 現金及び現金同等物の増減額	△277	△89	187
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,348	1,070	△277
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,070	981	△89

総資産・自己資本

(単位：百万円)



販売開始 **新製品!**

FineQap	FPD向け高精度容量抽出ツール
FineVolt	有機EL向け電圧降下分布算出ツール
SpiceChart	回路シミュレーション波形高速表示ツール
CircuitCube	統合回路設計ツール
FineSketch	FPD向け図面作成ツール

製品発表

CoSimLCD	回路・液晶協調シミュレーション
PowerVolt	IR Drop検証ツール

平成23年3月期のポイント

売上予想は前年度比5.8%増

**営業利益予想は前年度比114百万円増、
黒字化(利益率3.1%)**

研究開発投資は13%減額、なお高比率維持

中国の販売体制強化(上海に販売機能)

➤ 新興国の需要拡大と低価格化の同時進行

- 生産面では原価低減と生産量増の要請により設備投資は増加傾向
- R&Dでは**設計品種の絞込み**や**設計者数削減の影響**で設備投資抑制が続く

➤ 国内EDA市場規模は全体として縮小傾向

- 大手EDA各社の複数年包括契約も例外ではない
- 新興市場、特に中国の液晶パネルは増加傾向
- **競争激化、低価格化進行**

中国の液晶パネル工場建設ラッシュ

第6世代以上の建設プロジェクト一覧

会社名	地域	世代	稼動時期
BOE Technology Group (京東方科技集団)	合肥	G6	2010Q4
BOE Technology Group (京東方科技集団)	北京	G8.5	2011Q4
Shenzhen China Star Optoelectronics Technology (華星光電技術)	深セン	G8.5	2012Q1
Nanjing CEC-PANDA LCD Technology (中電熊猫液晶顯示科技) / Sharp	南京	G6	2011Q1
Nanjing CEC-PANDA LCD Technology (中電熊猫液晶顯示科技) / Sharp	南京	G8	2012Q4
LG Display	広州	G8.5	2012Q2
広新光電/CMO	佛山	G8.5	計画中
Infovision Optoelectronics Kunshan (昆山龍飛光電) / AUO	昆山	G7.5	計画中
Chimei Innolux (CMI)	成都	G8.5	計画中
Samsung Electronics	蘇州	G8.5	計画中

Source:各社、Jedat 整理

平成23年3月期業績予想(連結)

(単位：百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期		
	実績	売上高比	予想	売上高比	対前年同期比
売上高	1,512	100.0%	1,600	100.0%	+5.8%
売上総利益	1,025	67.8%	1,096	68.5%	+6.9%
販売費及び一般管理費	1,089	72.1%	1,046	65.4%	△3.9%
営業利益	△64	△4.3%	50	3.1%	-
経常利益	60	4.0%	61	3.9%	+2.1%
当期純利益	24	1.6%	35	2.2%	+43.0%

基本戦略は変わらず

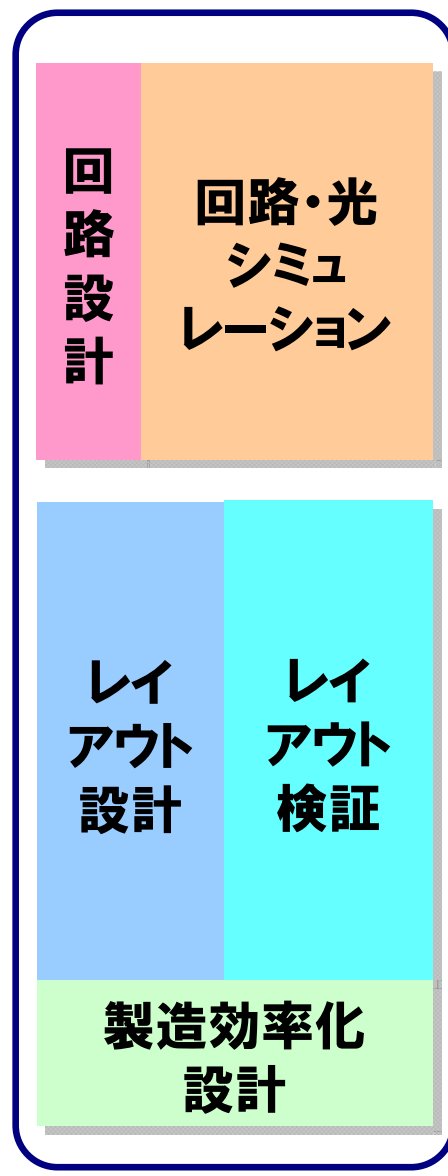
半導体



売上比の小さい回路設計分野での売上拡大
→新製品投入

競争力のあるレイアウト設計分野でシェア拡大
→先行している自動設計技術を強化・活用して新しいニーズに対応

FPD



中国・台湾市場での営業強化と低価格製品投入
→上海に営業拠点

日本・韓国市場では高度な検証機能製品と回路・光協調シミュレーションによる差別化

市場構造の変化に伴うニーズへの対応

- 基本戦略実行のため今後も研究開発投資を重視し、製品競争力を強化していく
- 市場構造の変化に伴うニーズに対応して、差別化を明確にしていく
 - ◎ 国内技術者の減員
 - 設備投資と異なり、技術者はすぐには育たない
 - 新人、他分野技術者の早期戦力化が重要課題
 - ◎ 国内設計業務の海外シフト
 - 目標仕様のズレ克服、手戻り削減が重要課題
 - ◎ 新興国市場の増大とEDAの低価格化
 - 商品の複合機能化
 - 新興国向け低価格商品

市場構造の変化に対応した差別化の例

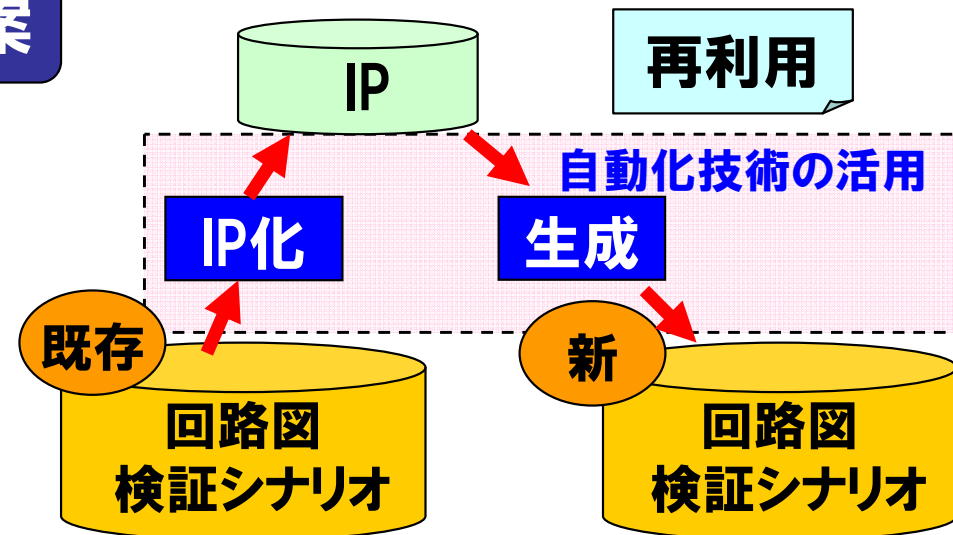
市場構造の変化に伴う顧客の重要課題

国内技術者の減員：
新人、他分野技術者の
早期戦力化

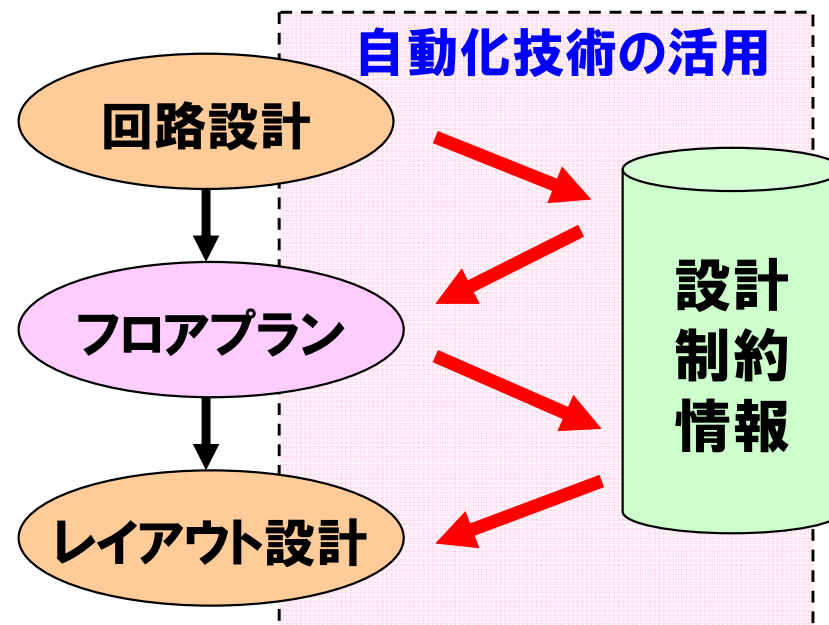
設計の海外シフト：
目標仕様のズレ克服
と手戻り削減

ジーダットの提案

設計資産・設計検証シナリオのIP化による再利用促進

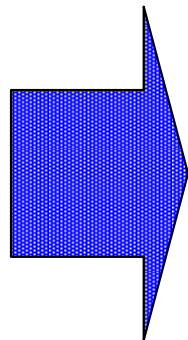


高精度・高速
フロアプラン
+
設計制約情報による
回路・レイアウト
協調設計の
促進



ジータット製品のキーワード

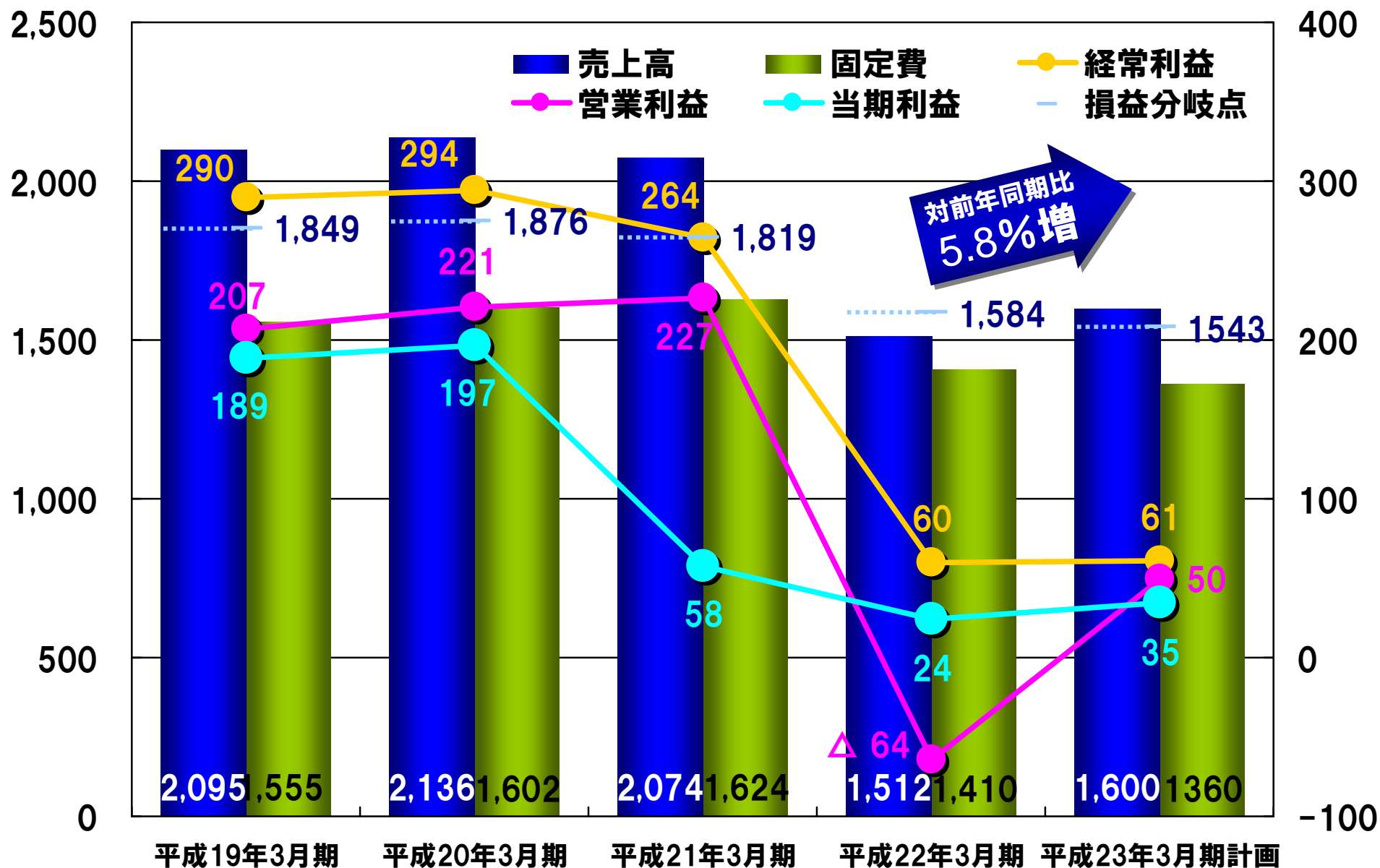
- 設計自動化
- 再利用促進
- ing検証
- 回路・レイアウト協調設計



- 設計効率向上
- 設計期間短縮
- 設計品質向上
- 開発コスト削減
- 新人の早期戦力化
- 海外アウトソースの問題解決

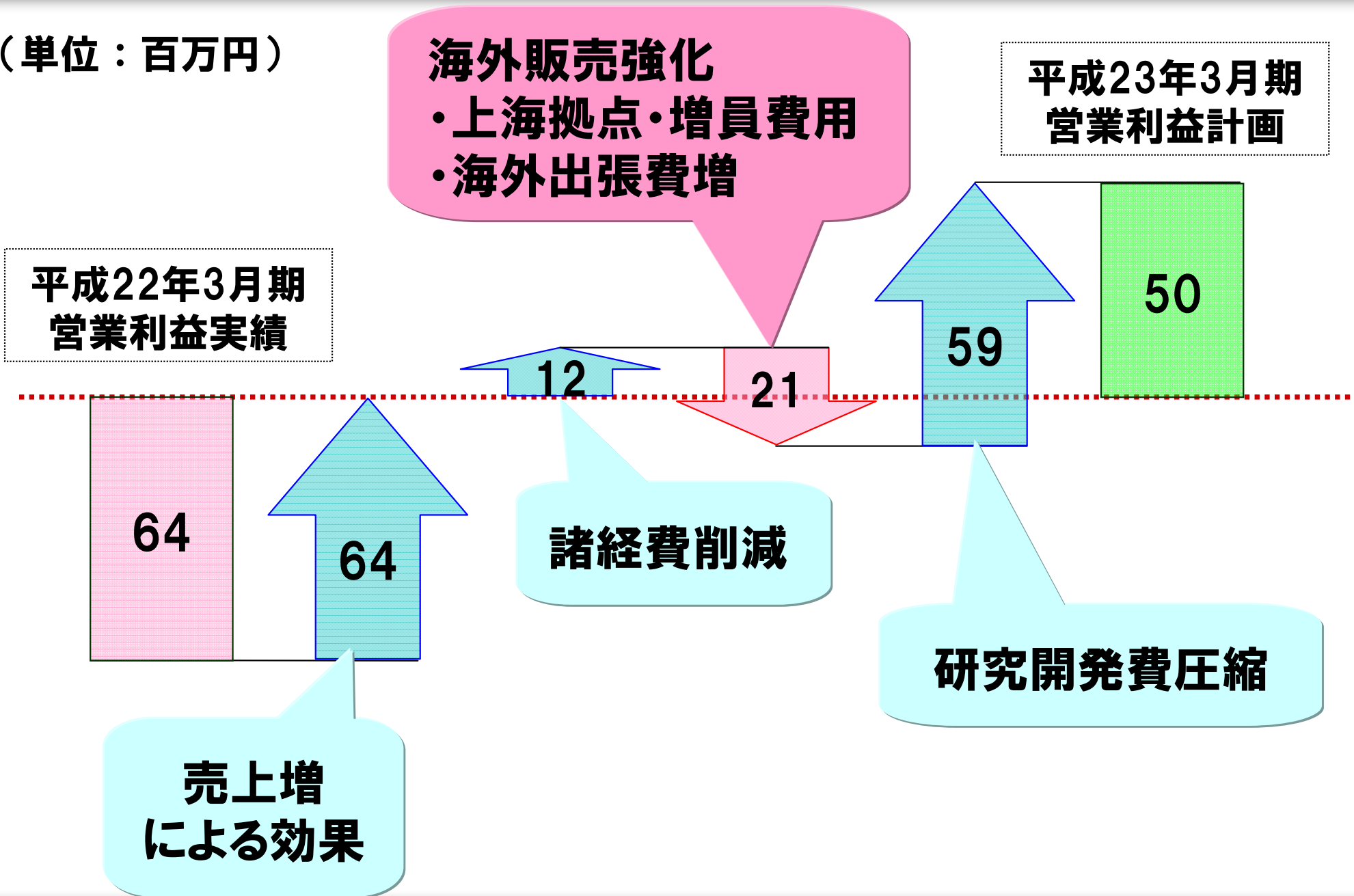
売上・利益

(単位：百万円)



営業利益の黒字化

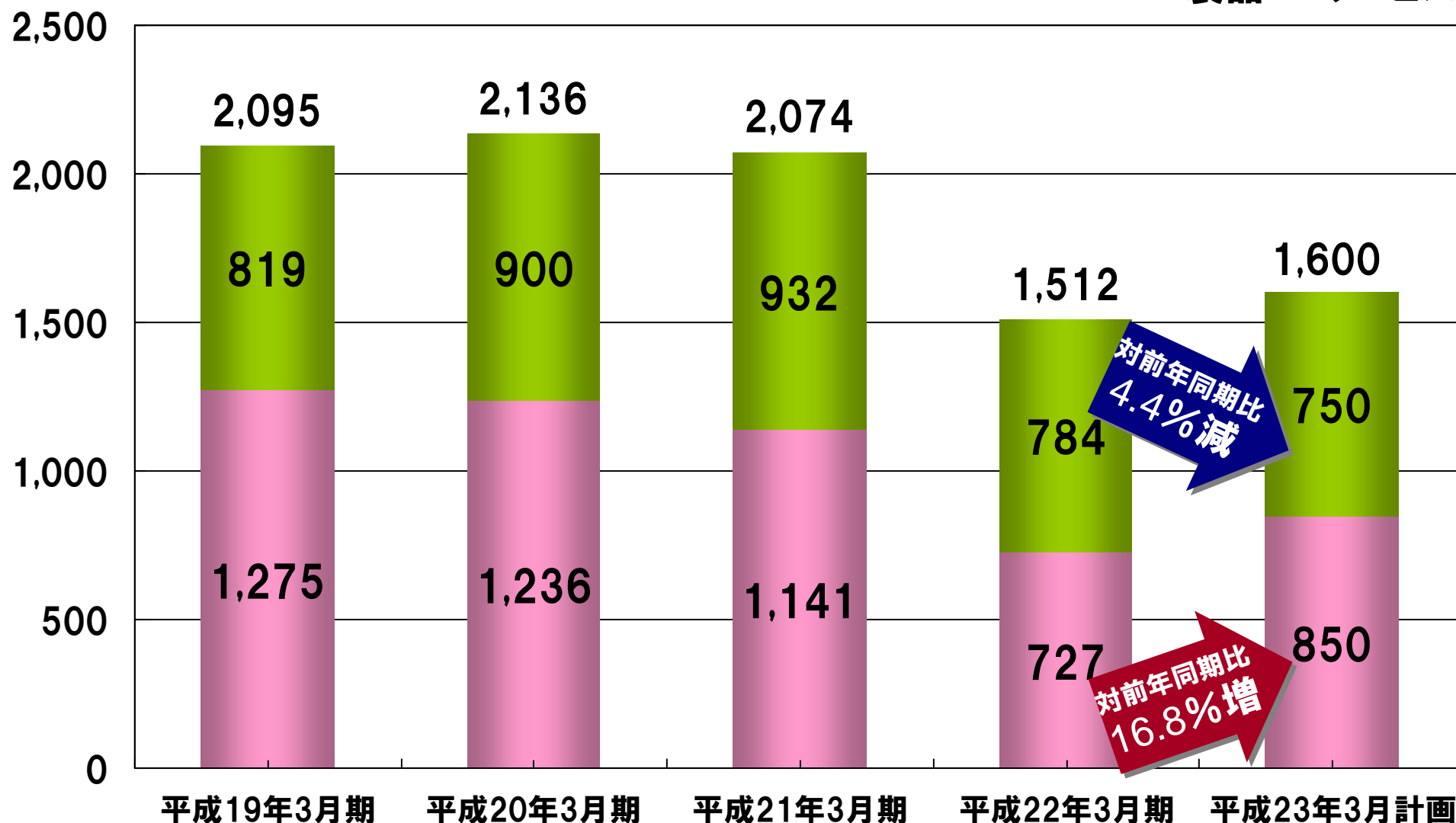
(単位：百万円)



【製品／サービス】

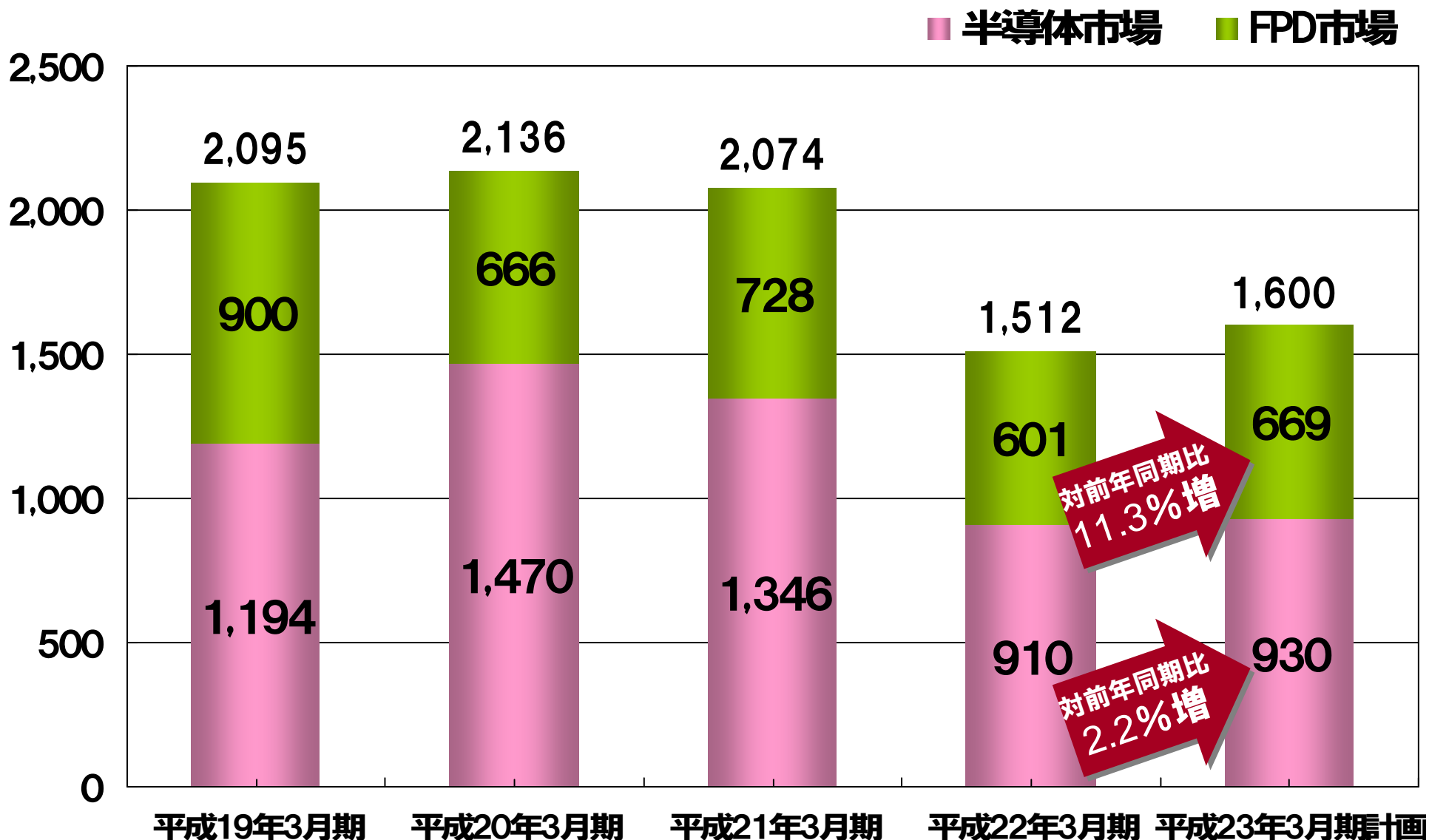
(単位：百万円)

■ 製品 ■ サービス



【半導体市場／FPD市場】

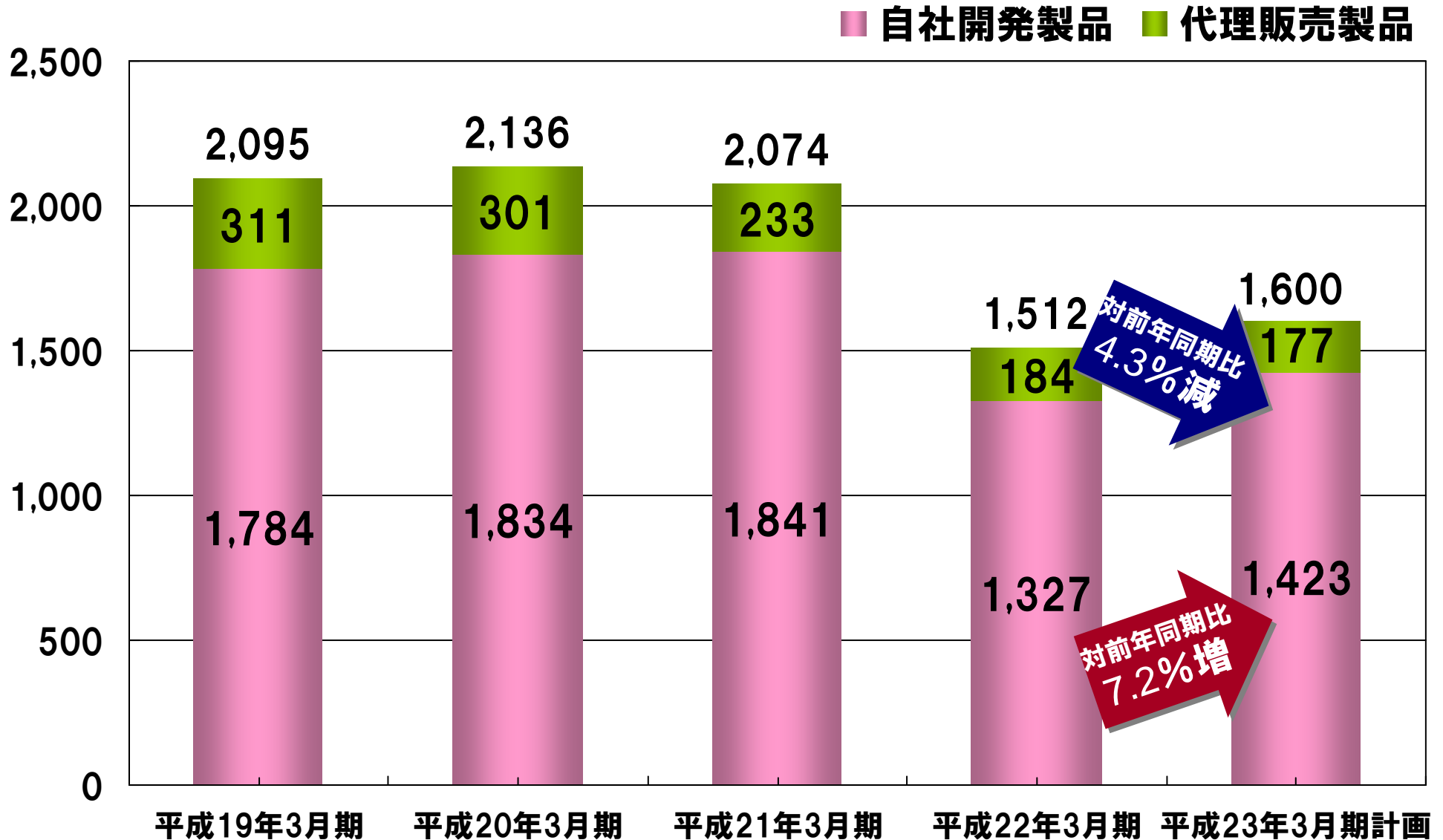
(単位：百万円)



製品区分別売上高の推移

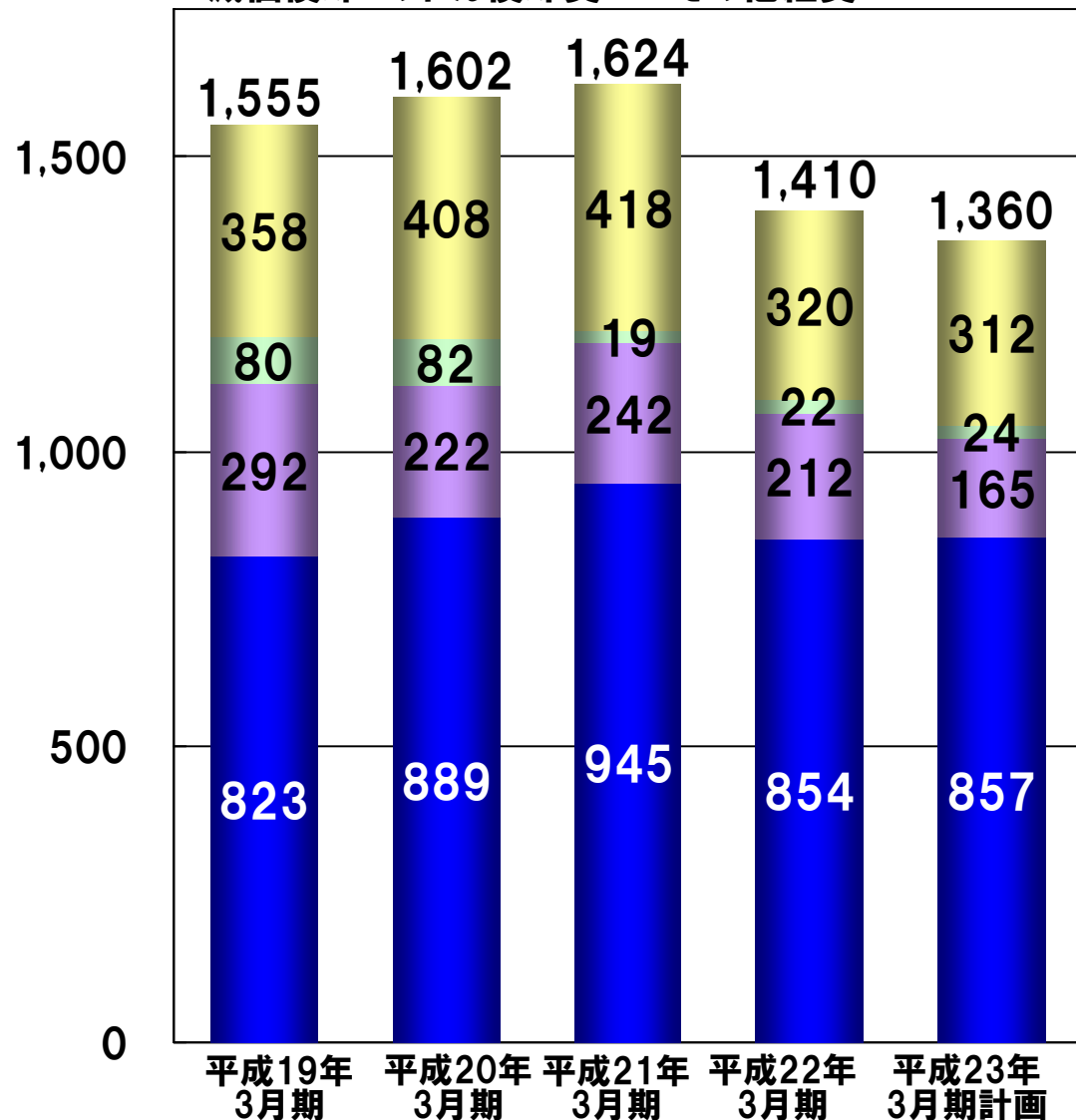
【自社開発製品／代理販売製品】

(単位：百万円)

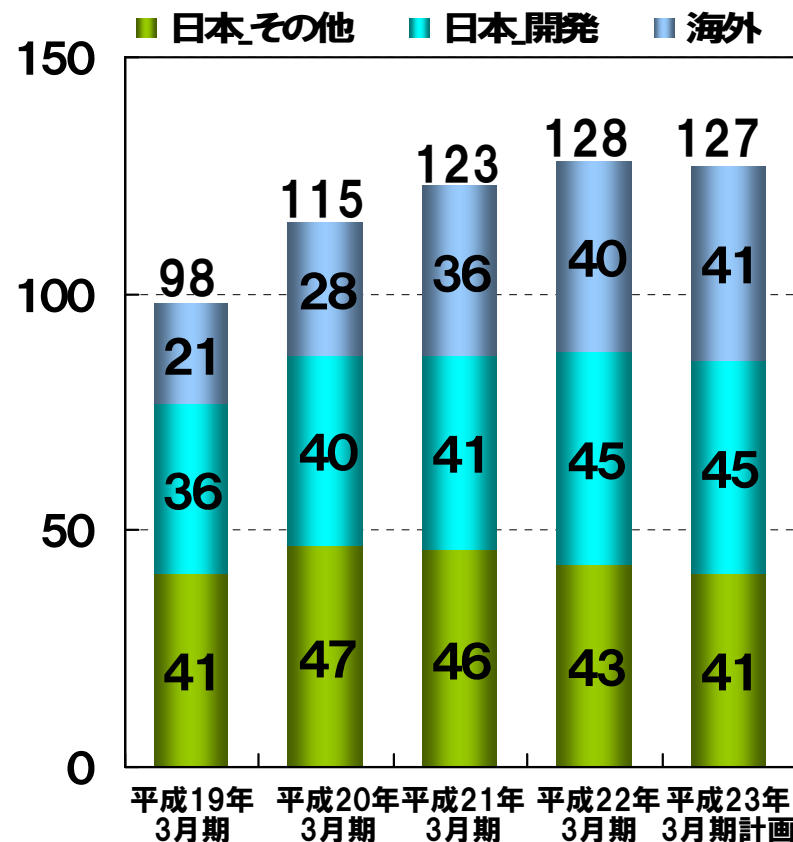


固定費内訳

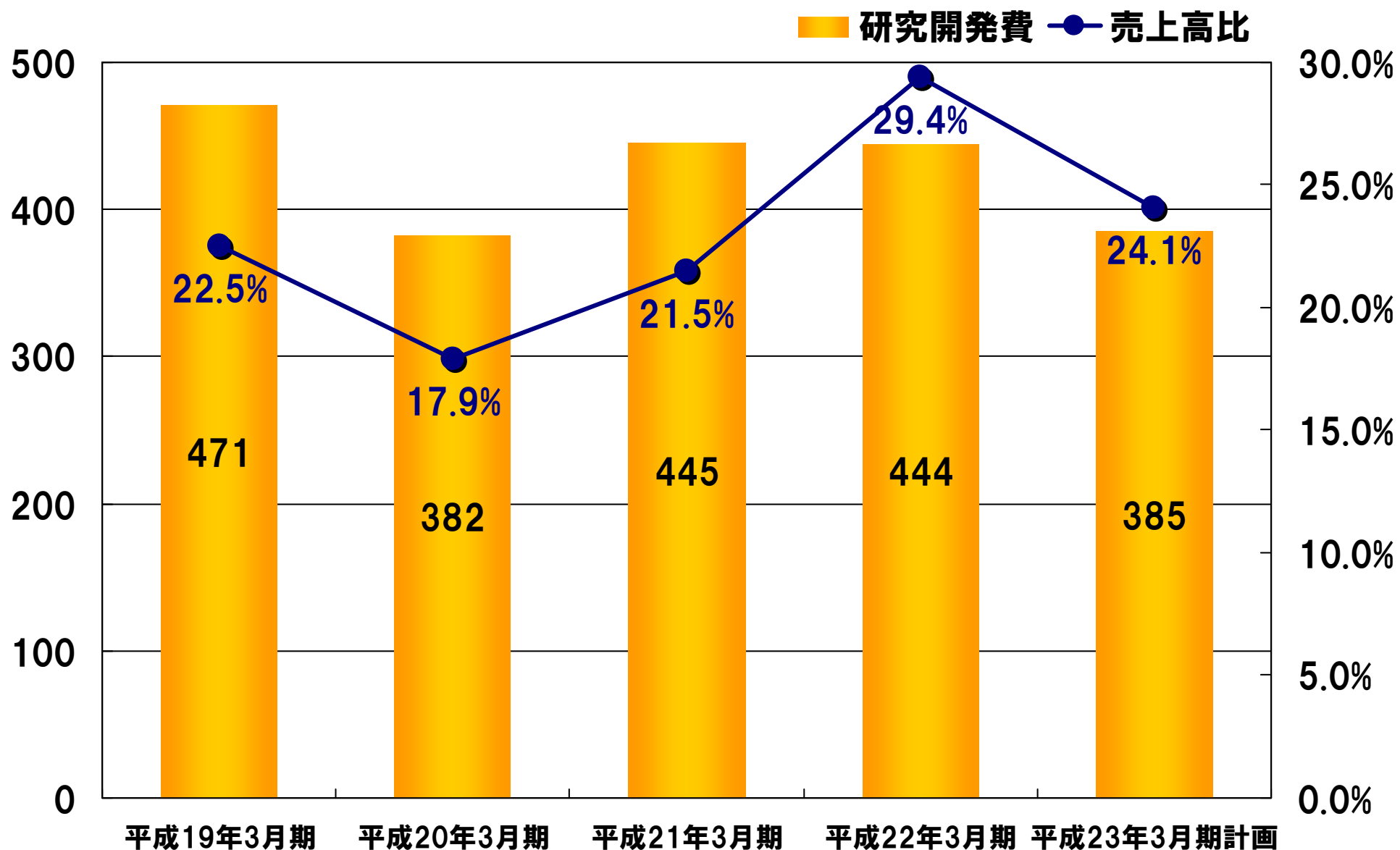
■ 人件費 ■ 外注費 (単位:百万円)
■ 減価償却・のれん償却費 ■ その他経費



【期末社員数】 (単位:人)



(単位：百万円)



ご清聴ありがとうございました

